大分県 松原・下筌両ダム視察報告

8月11日（水）	**福岡県**		
	朝倉市	**・筑後川支川の赤谷川の現場**	復旧・復興現場視察
	大分県		
	日田市		
	（中津江村）	**・松原ダム**	視察
		・下筌ダム	視察
		・下筌ダム貯水池左岸側大規模な土砂崩れの現場	被災現場視察
	熊本県		
		・被災した杖立温泉	被災現場視察

重力式コンクリートダムの松原ダム

アーチダムの下筌ダム（中津江村栃野）

参議院議員　足立　敏之

大分県　松原・下筌両ダム視察

2020/8/11

8月11日(火)、7月7日前後の梅雨前線による豪雨の際に、洪水調節で大きな効果を発揮した松原・下筌両ダムを視察するため、大分県に伺いました。

九州地方整備局筑後川河川事務所の松木所長、副所長で九州北部豪雨復興センターの柳田センター長、九州北部豪雨復興出張所の川合地域防災調整官、整備局OBで筑後川に精通している後藤さんにご案内をいただきました。

最初に、平成29年の九州北部豪雨で激甚な土砂災害が発生し、筑後川河川事務所が権限代行で復旧・復興を行っている筑後川支川の赤谷川の現場に伺いました。

支川の崩谷川(くえんたにがわ)では、土砂流出を抑制するため、砂防ダムの整備が進んでいました。

また、平成29年の被災当時訪れた際には土砂洪水氾濫で埋塞していた下流部の河道についても見させていただきましたが、土砂掘削により河道の復元が進んでいました。

崩谷川(くえんたにがわ)
砂防堰堤工事現場

筑後川河川事務所が権限代行で
復旧・復興を行っている筑後川支川の赤谷川の現場

-大分県- 2020/8/11

次に、日田市市街地の上流にある松原・下筌両ダムを訪れ、筑後川ダム統合管理事務所の中村所長から洪水調節の状況について説明をいただきました。日田市の原田市長、大分県建設業協会日田支部の河津支部長や幹部の皆さんにも合流いただきました。

今回の豪雨により、上流側の下筌ダムが満杯になり異常洪水時防災操作(いわゆる但し書き操作)に移行しましたが、下流側の松原ダムがそれをしっかり受け止めて、日田市で1.2mの水位低下効果を発揮したとのことでした。日田市はこれによりかろうじて大きな被害を生ずることなく乗り切ることができたと、原田市長も大いに喜んでおられました。

なお、松原ダムは高さ82mの重力式コンクリートダムで、下筌ダムは高さ98mのアーチダムです。両ダムは昭和48年に完成していますが、昭和33年から13年間にわたり「蜂の巣城紛争」という反対運動が展開されたことで有名です。

原田 日田市市長、
大分建協 河津日田支部長等 幹部の皆さん

重力式コンクリートダムの松原ダム

-大分県- *2020/8/11*

アーチダムの下筌ダム（中津江村栃野）

中村 筑後川ダム統合管理事務所長に
ご説明いただく

続いて、下筌ダム貯水池左岸側の大規模な土砂崩れの現場に伺いました。道路が通行止めになっただけでなく、福祉施設や家屋が崩落した土砂の直撃を受けて大きな被害を生じていました。また、建設業関係者のご自宅も被災していましたが、幸い皆さん避難されていて無事だったとのことでした。

その後、松原ダムの上流側の被災地である杖立温泉に伺いました。先日伺ったひとつ山向こうの天ヶ瀬温泉同様、一階は浸水により大きな被害を受けていました。新型コロナウイルスの影響でダメージを受けている温泉街をどう再生させていくのか、大きな課題だと感じました。

下筌ダム貯水池左岸側
被災した中津江村高齢者福祉センターと大規模な土砂崩れの現場

下筌ダム貯水池左岸側
被災した中津江村高齢者福祉センターと大規模な土砂崩れの現場

松原ダムの上流側の被災地である杖立温泉

-大分県-　*2020/8/11*